

今週のデマ情報 (~2016/10/20)

九州大学 池田研究室
新山慎太郎

トピックス

- ▶ AB型Rhマイナスの血液が不足？
- ▶ ワシントンポストで「今週のデマ」コーナーが復活
- ▶ Googleがニュース記事に「fact-check」タグを導入

AB型Rhマイナスの血液が不足

- ▶ Facebook等で「佐賀県内でAB型Rhマイナスの血液が不足しているので輸血してください」という投稿が多数シェア、コピペで広まる
- ▶ 日本赤十字社九州ブロックから正式に「血液は足りている」との発表(<http://www.bc9.org/topics/archives/591>)
- ▶ 実はこの手のデマは過去にも何度か流行しているものらしい(<http://teisei.info/archives/843>)
- ▶ 基本的にSNSやチェーンメールで輸血をお願いすることはない

ワシントンポストで「今週のデマ」コーナーが復活

- ▶ 米大統領選に向けて、ネットのデマを特集するコーナー「What was the fake on the Internet this week」が「The Intersect」コラムにて期間限定で復活(<https://www.washingtonpost.com/news/the-intersect/wp/2016/10/19/what-was-fake-on-the-internet-this-election-postal-workers-and-repealthe19th/>)
- ▶ もともと2013年から2015年まで約1年半連載していた

ワシントンポストで「今週のデマ」コーナーが復活

- ▶ 調べた段階で記事になっていたトピック
 - ▶ 郵便局員が「トランプに投票している不在者票を破り捨てる」発言
 - ▶ Twitterでトレンドになった「#Repealthe19th」はトランプ支持者の陰謀によるもの
 - ▶ オバマが自身のモニュメントを作るよう要請
 - ▶ ダライ・ラマが「トランプはヒトラーよりも悪い」と発言
- ▶ このコーナーは「選挙が終わるまで」もしくは「デマがなくなるまで」週3回ペースで更新するとのこと

Googleがニュース記事に「fact-check」タグを導入

- ▶ Googleが確認の取れる記事に対し「fact-check(事実確認)」タグを導入する(<https://blog.google/topics/journalism-news/labeling-fact-check-articles-google-news/>)
- ▶ 近年のファクトチェックサイトの普及に対応するための措置
- ▶ タグはコンテンツの作者が自由に付けられるが、不当に「fact-check」タグが付けられた記事にはGoogleが削除等の介入を行うとのこと

調べてみて少しわかったこと

- ▶ そもそもネットには誤情報がたくさんある
 - ▶ わざと間違った情報を流しているものもある
 - ▶ 単なる勘違いもある
- ▶ 情報が間違っていれば「デマ」なのか？
- ▶ 発信者の意図によって「デマ」かどうか分かれる？

調べてみて少しわかったこと

- ▶ デマを発信する人間には多少なりとも悪意がある？
 - ▶ 受け手に不利益を被らせたい
 - ▶ 自分の利益のために他人を巻き込みたい
 - ▶ 相手の危機感や嫌悪感を煽りたい
 - ▶ etc...
- ▶ デマを拡散する人間は色々な
 - ▶ 投稿者に悪乗り(便乗)したい
 - ▶ 素直に信じて拡散してしまう人もいる
- ▶ →SNSでは拡散(中継)する人間も一種の発信者として機能している

広がる「デマ」と収束する「誤情報」

- ▶ デマと誤情報の違いは何なのか
 - ▶ ポイントは「確証バイアス」と「拡散力」
 - ▶ 悪意のある情報は昔から存在していたし常に発信され続けている(ジョークも一種の悪意を含んだ情報)→受信者の取捨選択が重要
 - ▶ ユーザーは自分に都合のいい情報だけを受け取っている
 - ▶ 異なる側面を「認めない」心理
 - ▶ 認めない、訂正しないことによって誤情報が残り続けるのが問題

広がる「デマ」と収束する「誤情報」

- ▶ デマと誤情報の違いは何なのか
 - ▶ ポイントは「確証バイアス」と「拡散力」
 - ▶ 広がらなければデマではない(流言飛語、風評被害)
 - ▶ SNSは発信ツール=拡散させるためのツール